

民報 ゆうばり

市民の声を届ける議席を必ず守ろう！

市長不在の 3 月議会でくまがい桂子市議質問

**3 月議会でくまがい桂子市議質問
給食費への補助・就学援助の拡大など子どもの貧困解消を
拠点複合施設運営は市民参加とスタッフの充実等文化の充実を**

3 月 5 日から開催された、夕張市議会第 1 回定例議会において、くまがい桂子市議が質問した内容の概略についてお知らせします。

今回の 3 月議会は夕張市長が退職し、不在の状況だったため、平成 30 年度の教育行政の執行状況について質しました。

Q1：新年度中にオープン予定の拠点複合施設について、運営体制は市民を含めたものとし、オープニングイベントについても市民とともに計画すべきではないか。また、施設の愛称なども市民から募集することによって、関心も高まり、利用の拡大につながるのではないか。

A1：運営については多様な市民のニーズがあり、南支所や教育委員会も入る中で、市民との連携を考えたい。愛称については、施設のキャッチフレーズを夕張高校生から募集をした経緯もあり、それらを踏まえて考えたい。

Q2：給食費の未納について、子どもの貧困が増えている中、先進地域のように無償化や補助、就学援助の拡大にも力を入れるべきではないか。

A2：世帯 28 万円が未納。公平性の面からも有効な方策を考えていきたい。

Q3：生涯学習プロジェクトやワクワクプロジェクト事業について、スタッフ不足との反省事項が出されているが、図書館司書も含め職員の増員が必要ではないか。

A3：人員不足は否めないが、教育委員会、社会教育主事、図書館司書などの専門職が拠点複合施設に入ることになるため、協力し合ってスタッフ不足を補いあえると考えている。

【意見】 夕張の本当の「再生」は、住んでいる市民が、生き生きと楽しく暮らせるまちになること。そのためには子どもの貧困の解消はもちろん、「人間は文化を食べる生き物」という言葉があり、文化の発展の拠点ともなる複合施設には大きな期待が寄せられている。そこに入る図書館機能やスタッフの充実、学校図書館の充実についても、新年度に向けて強く要望する。



くまがい桂子事務所びらき開催

3 月 17 日（日）、くまがい桂子事務所「くまがい桂子事務所」が 20 名を招き、超える参加者で開催されました。はじめに、紙智子参議院議員、はたやま和也元衆議院議員からの熱い連帯のメッセージが紹介されました。

筒井勇治選対部長が挨拶し「今年は一に桂子さんが市議選に挑戦です。くまがい桂子さんを必ず当選させるために、みなさんの力を貸してください」と訴えました。

続いて、くまがい桂子さんが「4 期目の市議選に挑戦です。1 期目の時に 2006 年の夕張財政破た

そのことを訴え続け、新婦人内後援会からは、久世公子さんが挨拶し「くまがい桂子さんを当選させるために、仲間たちと全力で頑張りましょう」と力強い決意を述べました。

最後に、筒井選対部長の音頭で、「くまがい桂子さんを必ず当選させ、一斉地方選挙・参議院選挙に勝利するため、団結ガンバロー！」と参加者一同声をあげました。

ゆうばり国際ファンタスティック映画祭閉幕

3月7日～10日、ゆうばり映画祭はホテルシニョーパロ、商工会議所等を会場に開催されました。恒例の「ストーブパーティー」には9日、お買い物駐車場を会場に



大勢のお客さんが真っ赤なストーブを囲みました。また、この日寒さを吹き飛ばす勢いで勇壮な姿で「夕張太鼓」が披露されました。青少年が打ち下ろす響きは強烈に体を揺さぶり続けたひと時でした。



これまで冬季に開催されたこのイベントは、来年は夏季に開催という報道がありました。この日の最終映画は「いつくしみふかき」午後9時45分から、終演トークセッションがありました。



くずさんの 夕張歴史散歩(108)

明治維新 24 / 朝鮮植民地支配 ⑧

東学農民軍、抗日民族闘争に

全洲和約を結びそれぞれの故郷に帰学農民でしたが、王宮占拠・国王拘束され日本軍が撤退しないのを見て、十月再決起します。(第2次蜂起)

これに対し日本政府は、四国4県からなる後備第十九大隊(二一五〇名)を派遣します。これは「東学党討滅(伐)隊」と呼ばれ、清国軍とたたかった部隊と別に、もつばら東学農民軍の「せん滅」を目的に編成されたのです。

皆殺しすべし

派遣大隊長南小四郎少佐ひきいる討滅隊は、参謀本部の川上操六次長から「東学党に対する処置は厳烈なるを要す。向後悉く(ことごとく)殺戮すべし・・・」(一八九四年(明治27年)十月二十七日)の電報を受けて、農民軍の皆殺し作戦を強行します。

近代的な武器を持つ日本軍(朝鮮国軍も日本軍の指揮下におかれ)は、農民軍を朝鮮半島の北部から西南まで追い詰め、珍島で全滅させます。指導者の全疎準(ゼンシンジュン)は捕えられ、日本軍への協力を拒否し処刑されます。

非道な東学党せん滅の暴虐

日本軍の報告書を見ると、「東学党を捕獲し、・・・銃殺せり」「捕えて処刑、梟首2名、砲殺78名」とあります。梟首とは、首を切り落とし「さらしもの」にする事です。あまつさえその頭蓋骨さえも「採取」しているのです。(非道な報告のごく一部)

こうして朝鮮の抗日民族闘争は、悲惨な殺戮による三万人以上・数万人を数える犠牲者を出して、日本政府・日本軍によって弾圧されたのです。



岩渕 友「国会かけある記」
参議院議員

岩渕 友

市民と野党の共闘つらぬく

一斉地方選挙です。23日に小樽、24日に札幌市北区にうかがいました。冬に戻ったような寒さのなか地域を歩いて支持を訴えたり、電話かけなどをするみなさんと接し、「必ず勝利へ」と力が入りました。

「食料品が値上がりして量が減った」「ストーブをたかずに我慢している人もいる」といったくらしの大変な実態とあわせて、「こんな時になんで大型公共事業なのか、増税や国保の値上げなのか」という怒りの声が寄せられました。命とくらしを守る政治に切りかえ、北海道から安倍政治にノーの審判を突きつけるチャンス選挙です。

「石川ともひろさんは、はっきり言ってくれる」「最後の決起集会でどの党の議員も候補者も壇上にあがったのが圧巻だったよね」と、知事選がどこでも話題になりました。思えば5区補欠選挙が参院選での共闘の大きな力になりました。総選挙を経て、知事選ではカジノ、J.R、原発、憲法など、政策での一致点が広がってきました。道議会では、自民党が改憲発議を求める意見書の提出を3度断念せざるをえなくなりました。多数を占める自民党なら強行もできたはず。許さなかったのは、道民の世論と野党の力があつたからこそです。

共闘をさらに発展させて、安倍政治を終わらせるために欠かせないのは日本共産党の議席です。市民と野党の共闘で政治を変える、安倍政治を終わらせる。この立場をとことん貫く日本共産党の議席が要です。私も全力を尽くします。